

将来都市像と基本目標、都市づくりの考え方と課題

将来都市像

幸せが実感できる

共生のまち

長久手

【都市計画マスの基本理念と目標】

長久手らしい
魅力の向上を図る

- 住宅地の質と暮らしやすさの向上
- 安心、安全なまちづくり
- 自然環境の維持保全活用
- 人と人がつながるまちづくり

【都市マス改定における課題の基本的考え方】

- 市街地の拡大指向からまちの質の向上への転換
将来的な人口減少の局面を考慮し、市街地の拡大を前提としたまちづくりから、住宅都市としてまちの質を高めるとともに、みどりがあふれ、誰もが暮らしやすいまちを目指す。
- 直近の人口増加（特に子ども）への対応
将来的な人口減少は見据えつつ、子育て世代の増加に対応した施設が整ったまちを目指す。
- 歩いて暮らせるまちづくり
将来的な高齢者の増加を見据え、自家用車に頼らず歩いて暮らせるまちを目指す。
- 大規模災害への備え
南海トラフ大地震や、水害、土砂災害などの自然災害に強いまちを目指す。
- 人がつながる空間づくり
住民同士のつながりや長久手市を訪れた人が交流できる空間づくりを目指す。
- 都市運営の考え方の導入
長期的な人口減少による担い手不足や、財政力の低下が予想されるなかで、市民とともに、つくり、つかう、まちを目指す。

【カテゴリーごとの都市づくりの課題】

① 土地利用

- 直近の人口増加と将来的な人口減少、高齢化を見据えた、誰もが暮らしやすい都市構造と土地利用の誘導が課題
- 都市拠点の整備が課題
- みどりの推進・保全が課題

② 公共交通

- まちの変化に対応した持続可能な公共交通の実現が課題
- 高齢化による新たなニーズ、地域ごとのニーズに対応した公共交通ネットワークの形成が課題

③ 防災・安全

- 都市の防災力・安全性の向上が課題

④ 都市施設

- 安心して快適に移動できる道路の整備が課題
- 人口需要に応じた施設の整備が課題
- 住民活動拠点の整備が課題
- 都市施設の長寿命化、複合化、ゼロエネルギー化が課題

⑤ 都市環境

- 市東部における自然環境の保全が課題
- 都市の低炭素化の推進が課題
- 歴史、文化資源の保全・活用方策の検討が必要
- 観光交流施設の整備及び回遊性の増進が課題

⑥ 都市運営

- 使い方を考慮した都市施設の整備が必要
- 既存施設の利用率の向上や新たな使い方の検討が必要
- 市民による地域課題の解決方策の検討が必要

長久手市の特色（現況把握）

現行計画の評価